



「桜に波」

2010

長崎県雲仙市教育委員会

雲仙市文化財調査報告書 第9集

tsurukamejyo kojirojyo ato
鶴亀城（神代城）跡

kojirakusaji
—神代小路地区街なみ環整備事業に伴う発掘調査報告—

目 次

巻頭図版（中表紙）

発行にあたって

例言

本文目次

挿図目次

表目次

図版目次

第1章 調査の経緯	1 p
第1節 発掘調査にいたる経緯（辻田）	
第2節 発掘調査の方法（辻田）	
第3節 遺跡の地理的・地形的・歴史的環境（辻田）	

第2章 基本土層	6 p
第1節 調査区内の土層堆積状況（辻田）	

第3章 検出された遺構と遺物.....	8 p
第1節 検出された遺構（辻田）	
第2節 検出された遺物（辻田・村子）	

第4章 まとめ	29 p
第1節 総括（辻田）	
第2節 まとめ（辻田）	

挿 図 目 次

第1図 遺跡位置図 (1/20,000)	
第2図 調査区配置図 (1/5,000)	3
第3図 調査区配置図及び遺構配置図 (1/200)	4
第4図 調査区土層断面図 (1/100) (配置図1/400)	7
第5図 旧道路①検出状況 (1/100)	8
第6図 旧道路②検出状況 (1/50)	10
第7図 建物①検出状況 (1/50)	11
第8図 建物②検出状況 (1/50)	12
第9図 石垣及び石列①・石列②検出状況 (1/50)	13
第10図 土坑検出状況 (1/25)	14
第11図 通路跡最北端付近一括出土遺物 (土師器・陶磁器) (1/3)	17
第12図 土坑1 (SX-1) 出土遺物 (陶磁器) (1/3) 31のみ (1/2)	19
第13図 旧水路跡出土遺物 (ガラス製品) (1/3)	23
第14図 旧水路跡出土遺物 (ガラス製品及び生活用品) (1/3)	27
第15図 中央拡形部分の道路・水路の変遷 (1/600)	31

表 目 次

第1表 出土遺物観察表.....	34
------------------	----

図版目次

中表紙図版（カラー） 鶴亀城（神代城）跡と神代小路重要伝統的建造物群保存地区

本文中図版（モノクロ）

9頁 旧水路に詰め込まれた礫 旧水路に詰め込まれた礫と畠地縁の右列

旧水路に詰め込まれた石と旧道路①

14頁 通路跡検出状況（北側半分） 土坑半裁状況（土坑1：S X 1）

図版1（モノクロ）

遺跡上空写真（昭和36年国土地理院）

図版2（モノクロ）

遺跡上空写真（昭和22年頃米軍撮影）

図版3（モノクロ）

遺跡上空写真（昭和36年国土地理院）

図版7（カラー）

試掘風景（H20.2月緋寒桜と鶴亀城（神代城）

跡本丸）

既存道路の掘削

調査区近景

旧道路①（上小路側より）

旧道路①（東より）

旧道路①（玉砂利舗装跡）

旧道路②路肩石列

建物基礎調査風景

図版4（カラー）

調査区上空写真

図版5（カラー）

出土遺物写真

図版6（カラー）

上段

調査区上空写真（北より）

下段

調査前風景（コスモス）

調査前風景（本丸方向）

図版8（カラー）

建物基礎遺構

建物基礎遺構と石列①

石垣と石列②

建物基礎遺構（西隅）

建物基礎遺構

建物基礎遺構（東隅）

建物基礎半裁（東隅）

基礎遺構完掘

図版9（カラー）

建物基礎遺構（東から1間目）

左写真調査風景

上写真完掘

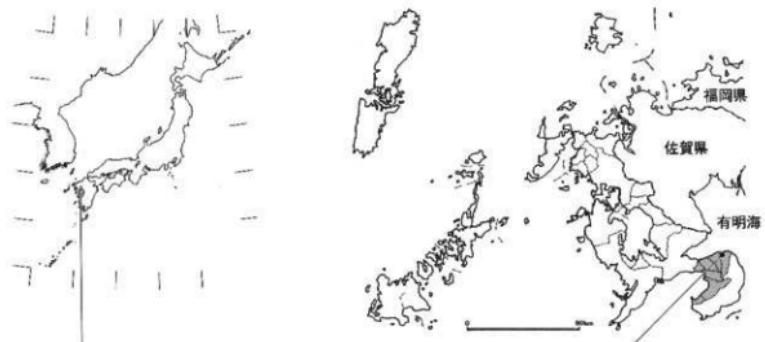
建物基礎集石内容物

江戸期遺物集中地点

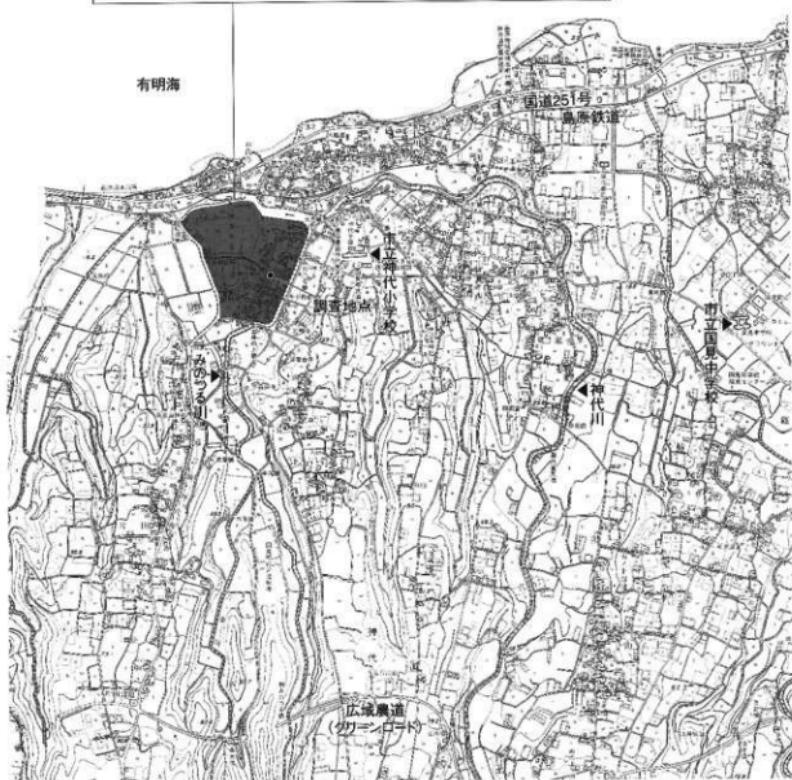
現地説明会（H21.12.20）

江戸期からの道路を歩く

調査後の掘削



鶴亀城(神代城)跡と神代小路重要伝統的建造物群保存地区



第1図 遺跡位置図 (1/20,000)

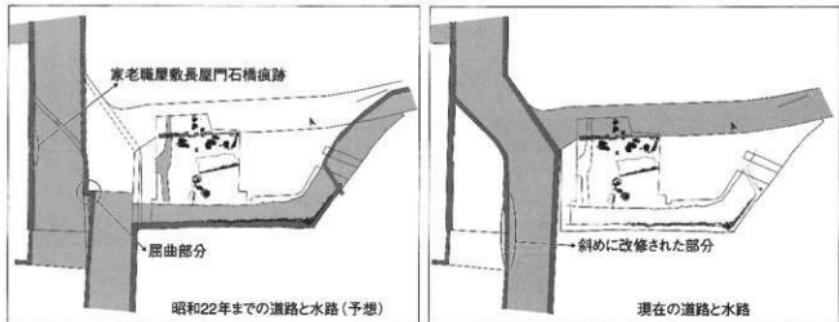
の水路へ続く水路が写っているが、昭和22年までは、本小路道路の東側の水路へ直進していたらしい。この時点ではすでに左へ曲がり、現在の状況とほぼ変わらない。注目したのは上小路から流れる水路が、画面下から $1/3$ ほどで一度屈曲している部分である。それとその水路石積みに見られる四角いコンクリート片である。現在の水路は第15図の中央枠形付近の道路・水路の変遷（右側図）に示しているが、上小路からの水路が若干斜めになっている様子が見える。32頁参考資料②で現在の水路の様子を見てみると、水路の石積みが斜めになっている部分について、昭和32年の写真にみえる四角いコンクリート片が使用されている。これは、写真の撮られた後、水路改修の際に並べられたと考えられる。したがって、少なくとも昭和32年までは第15図左側予想図の水路のように屈曲部分があったものと推測できる。この屈曲部分が何の痕跡かを考えた場合、嘉永5年の絵図（5頁参考資料①）に照らし合わせると、第15図左側予想図のような状況が考えられる。ただし、絵図では上小路からの水路が本小路西側水路までつながっており、あくまでも予測の範囲でしかない。また、明治5年の字図（5頁参考資料①）では、道路の枠形部分が安光小路よりつながる旧道路①より本小路側に描いてある。そうであれば、水路の屈曲部分は本小路西側水路へ接続するためのものとも考えられる。いずれにしても、道路・水路の正確な当時の姿を断定的に言及することは難しい。しかしながら、今回検出された建物跡や向い側の家老職屋敷長屋門の入り口の位置、水路の屈曲部分などから、これまで漠然とした「中央枠形」の風景が、いくつか想定される想像図の中の1つである可能性が示唆される。今後新資料の発見を待ってさらに検討を加えれば当時の姿の復元も可能であろう。

最後に、今回掲載したガラス製品などは、陶磁器類と違って容器の中身まで特定できるものが多く、近代小路の人々の日常生活を彷彿とさせるもので非常に興味深い。通常の発掘調査であれば取り扱うことのないものであるが、伝建地区ということもあり、今後も積極的に取り扱っていただきたい。

神代小路地区内では、これまでに数度試掘調査を行っている。小路遺跡（試掘1）や鍋島陣屋跡（試掘2）からは、江戸期から続く水路や中世神代氏時代の堀跡など、まちなみの変遷を理解する上で重要な遺構・遺物が検出されている。今回の調査でもこれまでの調査と同様に、良好な遺構・遺物の検出がみられた。今後のまちなみ保存事業の貴重な成果となろう。（辻田）

【参考文献】

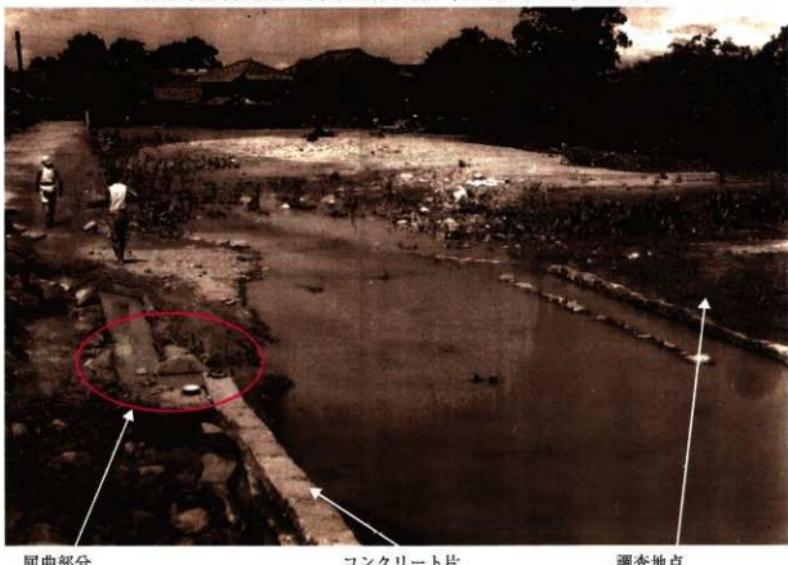
国見町教育委員会 2003『神代小路』国見町神代小路伝統的建造物群保存対策調査報告 長崎県国見町教育委員会（現芦仙市教育委員会）



第15図 中央枠形部分の道路・水路の変遷（1/600）※薄いアミかけは道路、濃いアミかけは水路

参考資料② 昭和32年諫早大水害直後写真との比較：中央枠形改修状況

昭和32年諫早大水害時中央枠形付近写真（小路地区前田達見氏提供）



屈曲部分

コンクリート片

調査地点



現在の様子



本小路方向から



斜めに改修された部分

参考資料③ 長屋門石橋部分の水路石積み構造



家老職屋敷（鍋島邸南側）長屋門石橋の痕跡が残る水路石垣
※石積み構造の変化が良くわかる

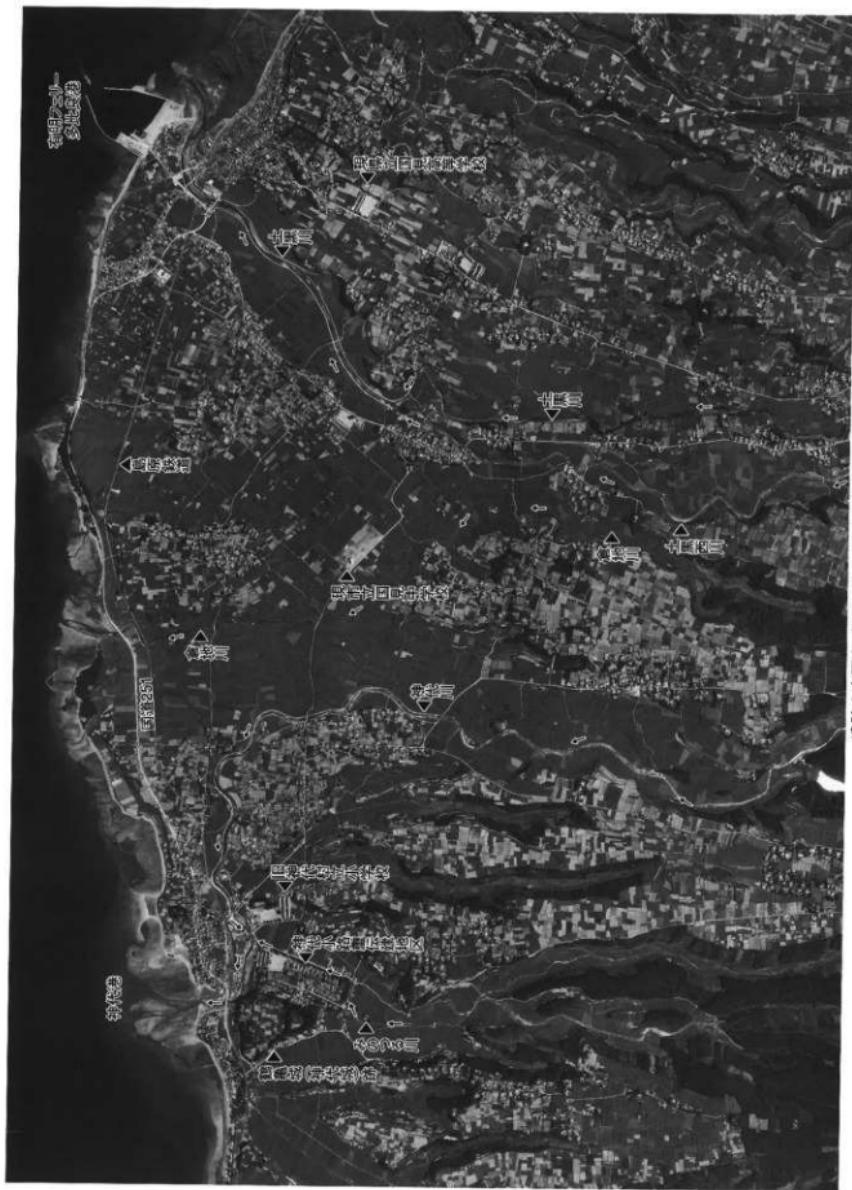


家老職屋敷（鍋島邸北側）長屋門石橋の水路石垣
※上段鍋島邸南側家老屋敷前の水路石垣と共通する。

第1表 出土遺物觀察表

図 版

図版 1



遺跡上空写真（昭和36年国土地理院）

図版2

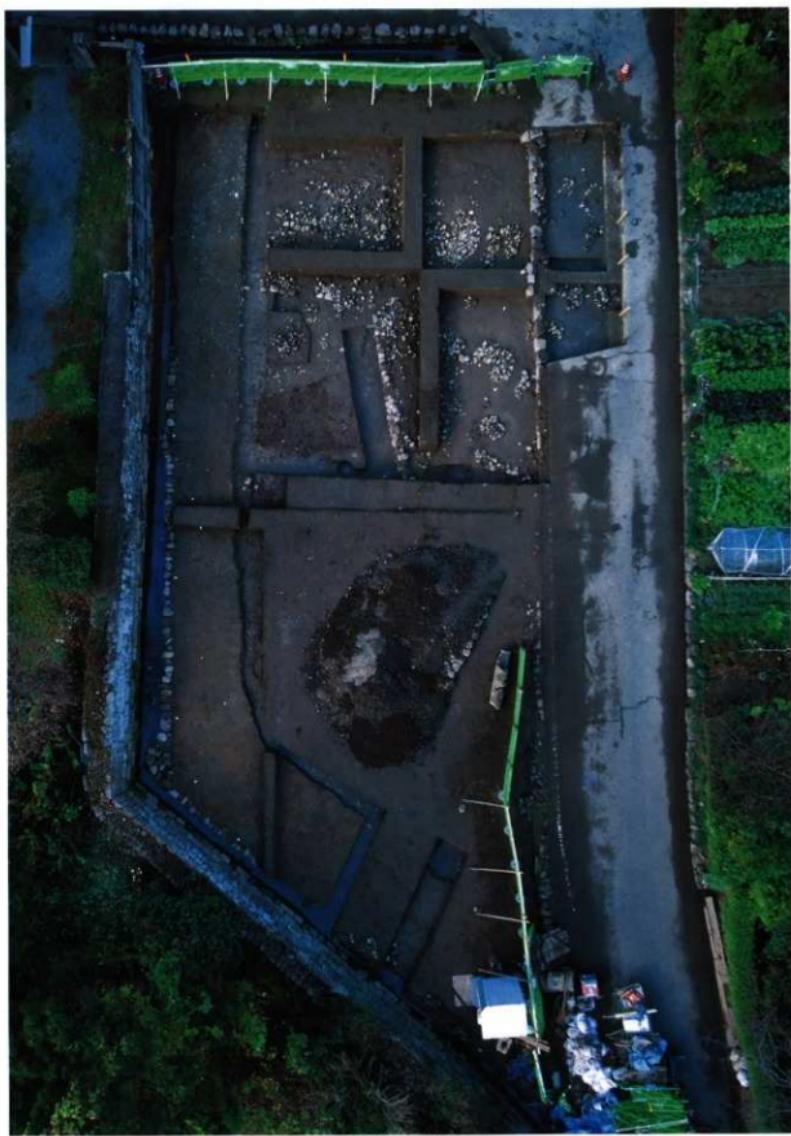


遺跡上空写真（昭和22年頃米軍撮影）



遺跡上空写真（昭和36年国土地理院）

図版 4



調査区上空写真

第11図 1 2 3 4 5



6



7

8

9

10



11

12

13

14

15



第12図 16 17



18

20

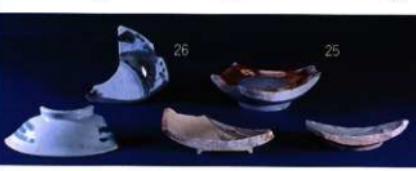
22



19

21

23



24

27

28



29

30

31

32



第13図 33 34 35 36 37 38 39 40 第14図 41 42 43 44 45



46

47

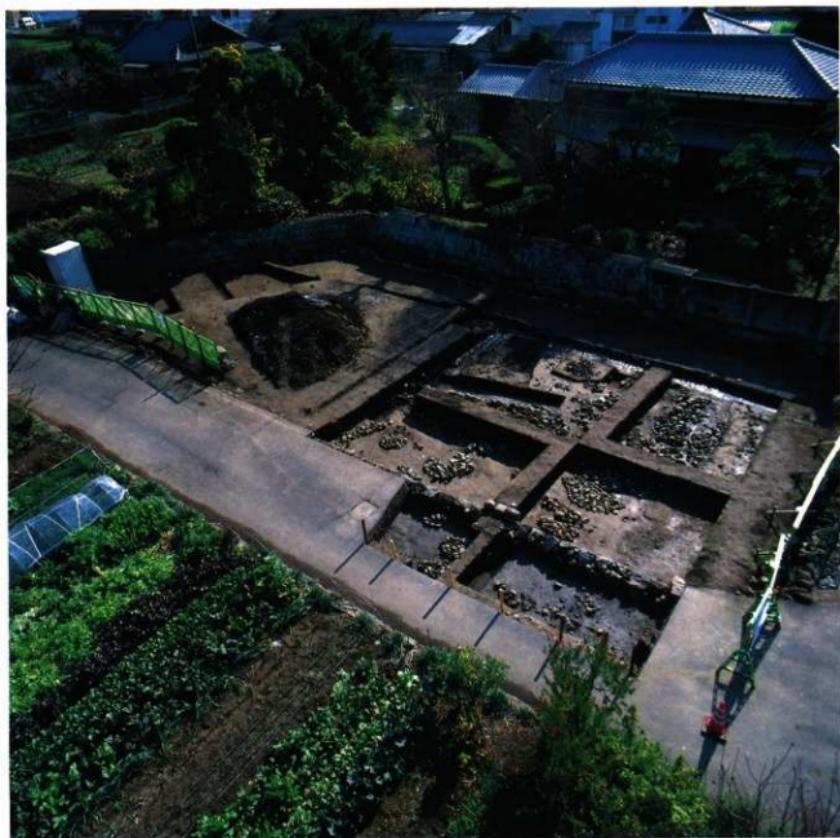
48

49

50

52

図版 6



調査区上空写真（北より）



調査前風景（コスモス）



調査前風景（本丸方向）



試掘風景（H20. 2月緋寒桜と鶴亀城（神代城）跡本丸）



既存道路の掘削



調査区近景



旧道路①（上小路側より）



旧道路①（東より）



旧道路①（玉砂利舗装跡）



旧道路②路肩石列



建物基礎調査風景

図版 8



建物基礎遺構



建物基礎遺構と石列①



石垣と石列②



建物基礎遺構（西隅）



建物基礎遺構



建物基礎遺構（東隅）



建物基礎半裁（東隅）



基礎遺構完掘



建物基礎遺構（東から 1 間目）



左写真調査風景



上写真実掘



建物基礎集石内容物



江戸期遺物集中地点



現地説明会（H21.12.20）



江戸期からの道路を歩く



調査後の掘削



雪の日の絢寒桜

報告書抄録

ふりがな	つるかめじょう (こうじろじょう) あと						
書名	鶴亀城（神代城）跡						
副書名							
卷次							
シリーズ名	雲仙市文化財調査報告書						
シリーズ番号	第9集						
編著者名	辻田直人・村子晴奈						
編集機関	雲仙市教育委員会						
所在地	〒854-0492 長崎県雲仙市千々石町戊582番地				Tel 0957-37-3113 Fax 0957-37-3112		
発行年月日	西暦：2010年3月31日						
所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
鶴亀城 (神代城) 跡	長崎県雲仙市 国見町 神代小路	42213 市町村 遺跡番号	85-33 32° 52' 7"	130° 16' 3"	2009/11/9 ~ 2010/2/15	200m ²	防火水槽 工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
鶴亀城 (神代城) 跡	城館跡	中世・近世	掘立柱建物基礎 旧道路・旧水路 石垣 石列 土坑	江戸期 陶磁器 明治～昭和 陶磁器・ ガラス製品			
<p>鶴亀城跡は鳥原半島の最北端、神代港南側の台地上に位置する。中世在地首領神代氏の居城で、有明海の干満を利用した海城とされる。1584年に馬晴信により城主神代貢茂（たかしげ）は謀殺され神代氏は途絶えるが、その後は神代鍋島家の所領となる。鶴亀城跡の東側は国選定神代小路伝統的建造物群保存地区であり、神代鍋島家により武家町として江戸期に整備されたものである。現在も往時の風情を残す歴史情緒あふれるまちなみである。この神代小路地区は「神代鍋島家によって埋め立てて造成された」とされていたが、平成13年度及び平成17年度の試掘調査の結果、おおむねみのる川河口の砂礫堆積地盤（中州及び川原）上に整備されたまちなみと判断できる。調査では振わずかではあるが、中世遺物も検出されており、神代鍋島家以前の中世神代氏時代には小規模な集落として活用され、その後の神代鍋島家の時代に大規模な整備が行われたと考えられる。</p> <p>鶴亀城跡を含む神代小路は1587年（天正15年）に佐賀鍋島藩の所領となったが、神代鍋島家初代から三代までは神代小路には居を構えず、1663年（寛文3年）四代萬就（たかなり）から神代小路に入ることとなる。この四代萬就は治世に優れ、神代小路の武家町を整備し、領内の農・林業の発展に貢献し、多くの領民に親しまれたとされる。</p> <p>今回の調査は、鶴亀城（神代城）跡東側、小路地区の中央部分の調査を行い、江戸期から続く道路の跡や建物基礎と考えられる石造りや石垣なども検出された。小路地区内の調査で建物跡が検出されるのは初めてで、貴重な成果となった。出土遺物も江戸期の肥前地方の染付から、戦後のガラス製品など多種多彩で、小路地区の人々の暮らし振りを考える上で重要である。また、調査区に隣接する、地区的中央構形道路の形状もおぼろげながら予想することができるなど、伝建地区である小路地区的往時の姿を彷彿とさせる調査成果である。</p>							

Abstract

Book title	TSURUKAME (KOJIRO) Castle							
Subtitle								
Volume name	Report of an investigation Unzen-City cultural properties							
Volume	Vol 9							
Editors	Naoto Tsujita · Haruna Murako							
Editorial organization	Unzen-City Board of Education, Nagasaki-Preecture, Japan							
Address	Bo-582, Chijiwa-cho, Unzen-City, Nagasaki-Preecture, 854-0492, Japan							Tel 0957-37-3113 Fax 0957-37-3112
Date of issue	31-Mar-10							
Site name	Location	City code	Site number	North latitude ° ′ ″	East longitude ° ′ ″	Investigated term	Investigated area (m ²)	Investigated cause
TSURUKAME (KOJIRO) Castle	Kojiro, Kunimi-cho Unzen-City, Nagasaki-Prefecture, Japan	42213	85-33	32° 52' 7"	130° 16' 3"	09-Nov-09 15-Feb-10	200	Fire prevention water tank construction
Site kind	Period	Main features		Main artifacts			Remarks	
the ruins of a castle	the Edo period	Base of wood building Road of Edo period Waterway of Edo period Stone wall Large pit		the Edo period Porcelain Earthenware the Meiji period from the Showa period Porcelain Earthenware Glassware				

雲仙市文化財調査報告書 第9集

鶴亀城（神代城）跡

2010

発行 雲仙市教育委員会
長崎県雲仙市千々石町戊582番地
TEL 0957-37-3113

印刷 雲仙企画印刷株式会社
雲仙市小浜町南本町26番地
TEL 0957-74-2033

Report of an investigation Unzen City Cultural properties Vol.9



TSURUKAME (KOJIRO) Castle

Excavation Report with Environmental improvement project of town in kojirokuji



March 2010

Unzen City Board of Education, Nagasaki Prefecture, Japan